

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2011-131064(P2011-131064A)

【公開日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-027

【出願番号】特願2010-293330(P2010-293330)

【国際特許分類】

A 4 5 D 34/04 (2006.01)

B 6 5 D 51/32 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 34/04 5 1 5 C

B 6 5 D 51/32

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月31日(2011.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化粧料を口唇に塗布するための化粧料塗布用具と、該化粧料を収容するための容器とを備え、該塗布用具が該容器の口部から該容器内に出入自在な口唇化粧料塗布装置であって、

該塗布用具は、化粧料を塗布するための塗布面を有し、かつ扁平体からなる塗布部と、先端に該塗布部を連結した支持軸とを有しており、

該塗布部を正面視したとき、該塗布部は、最広幅部を有し、かつ該最広幅部から先端に向けて漸次狭幅となっているとともに、該塗布部の先端域の厚みが、該最広幅部の厚みよりも大きくなっている口唇化粧料塗布装置。

【請求項 2】

前記塗布面は、その中央部に窪み部が形成された凹面となっている請求項 1 に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 3】

前記先端域が、前記塗布面と反対側の面側において突出した突出部を有することで、厚みが大きくなっている請求項 1 又は 2 に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 4】

前記先端域は、前記塗布部の先端から後端へ向けて厚みが漸増して最大厚み部を有し、該最大厚み部から後端へ向けて厚みが漸減している請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 5】

前記塗布部の幅方向縦断面視における前記先端域の形状が、角が丸みを帯びた三角形である請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 6】

前記塗布用具が前記容器内に挿入された状態において、前記塗布部の塗布面が該容器の底部方向を向くように、該塗布部が該支持軸の軸方向に対して傾斜している請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 7】

前記容器の口部又はその近傍に、しごき孔を有する可撓性しごき弁が設けられており、前記しごき孔の周縁部から下方に延設して、可撓性環状裾部が前記可撓性しごき弁と一体として設けられている請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 8】

前記しごき孔の内径を、前記塗布部との接合面における前記支持軸の外径で除した値が $0.7 \sim 1.0$ であり、前記可撓性環状裾部の裾長さを、前記塗布部の長さで除した値が $0.05 \sim 0.5$ である請求項 7 に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 9】

前記容器は、その口部又はその近傍にしごき弁を備えており、該しごき弁の略中央部には、前記塗布部及び前記支持軸の通過が自在なしごき孔が形成されており、

前記塗布部の最広幅部は、前記しごき孔の最広幅部よりも大きくなされており、

前記塗布部は、該塗布部が前記しごき孔を通過するときに、前記塗布面を内側に変形可能になっている請求項 1 に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 10】

前記塗布部は、前記最広幅部から前記支持軸との連結部に向けて漸次幅が狭くなっており、該連結部においては、該塗布部の幅と該支持軸の幅とが略一致している請求項 9 に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 11】

前記最広幅部が、前記塗布部の先端から離れた位置にある請求項 9 又は 10 に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 12】

前記塗布部は、前記塗布面と反対側の面に、該塗布部の長手方向に延びる直線状又は曲線状の溝を 1 本又は複数本有する請求項 9 ないし 11 のいずれか一項に記載の口唇化粧料塗布装置。

【請求項 13】

前記塗布部 21 は、その表面に植毛処理が施されている請求項 1 ないし 12 のいずれか一項に記載の口唇化粧料塗布装置。